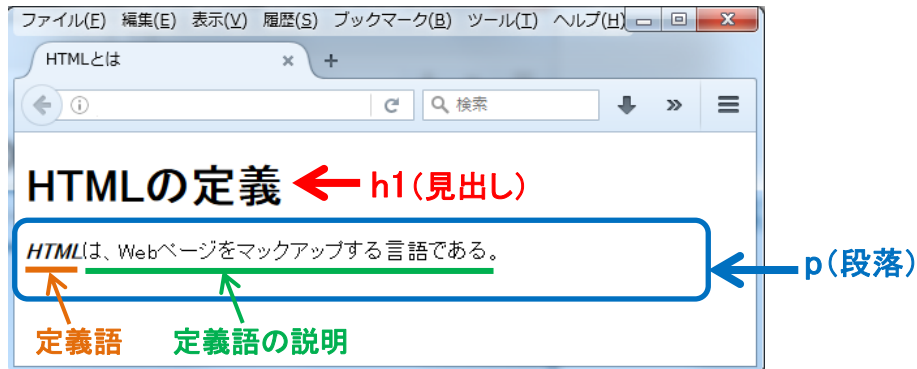


◆ テキストに意味づけをする

・定義語 P52

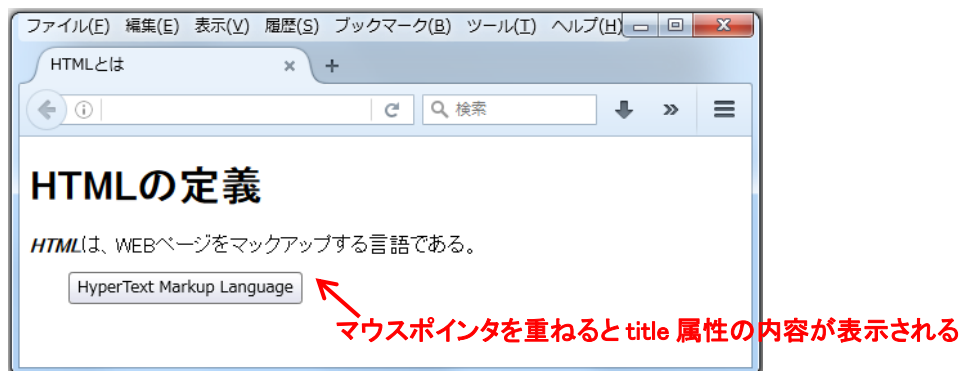
```
<p><dfn>定義語</dfn>定義語の説明</p>
```

P52 例題 2 ファイル名「sample03.html」



・定義語とその正式名称 P53

```
<p><dfn title="定義語の正式名称">定義語</dfn>定義語の説明</p>
```

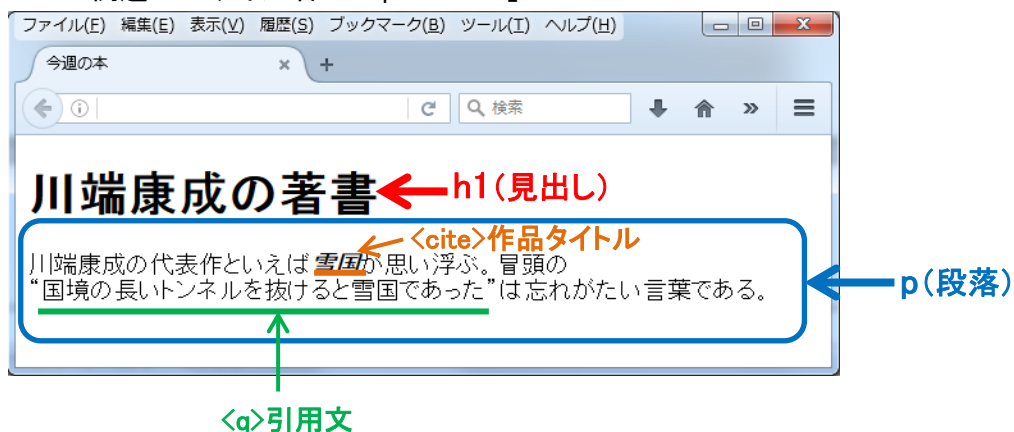


・作品の題名と引用 P54

```
<cite>作品タイトル</cite>
```

```
<q>本やインターネットからの引用文</q>
```

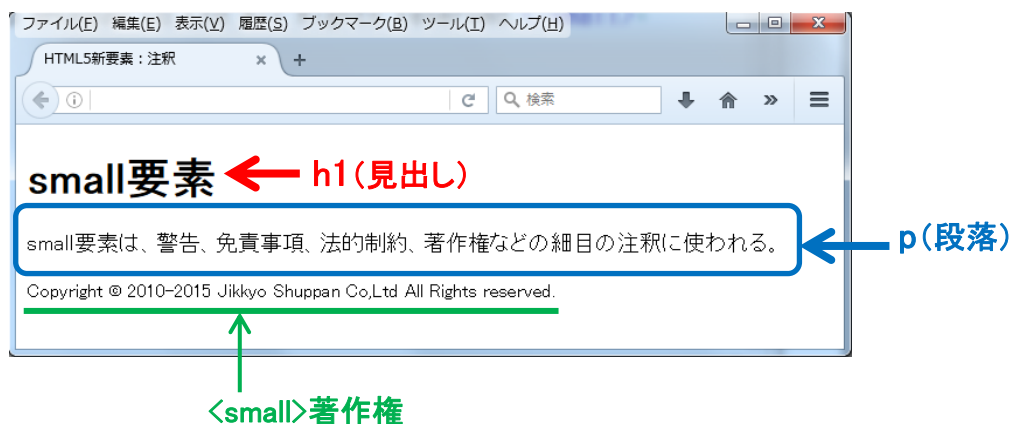
P54 例題 3 ファイル名「sample04.html」



・コピーライトの表記 P56

<small>警告、免責、著作権などの細目の注釈</small>

P56 例題 4 ファイル名「sample05.html」



スキルアップ

文字実体参照とは

直接入力できない記号や、マークアップで使われる、「<」や「>」、HTML 内で意味のある記号「"」や「&」などをブラウザに表示したい場合に使用します。(今回はコピーライトに©が使われています)

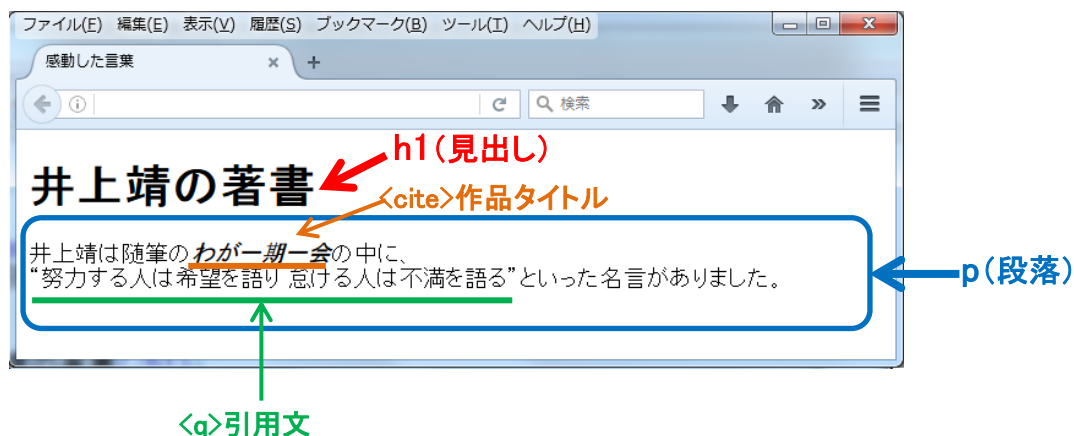
文字実体参照	表示
<	<
>	>
"	"
&	&
©	©

■使用した要素

●<body>要素内のコンテンツ作成

- ・<dfn>用語の定義 (Definition)
- ・<cite>作品の題名
- ・<q>本やインターネットからの引用
- ・<small>警告、免責、著作権などの細目の注釈

P57 実習 3 ファイル名「ex03.html」



◆ 文書構造を作る重要な要素

・見出し要素.....<h1>見出し</h1>

<h1>が最上位の見出し <h6>が最下位の見出し
階層を意識してマークアップする

・段落要素.....<p>コンテンツ</p>

文章のひとかたまり(パラグラフ)

・リスト要素.....

(P62)

リスト 1

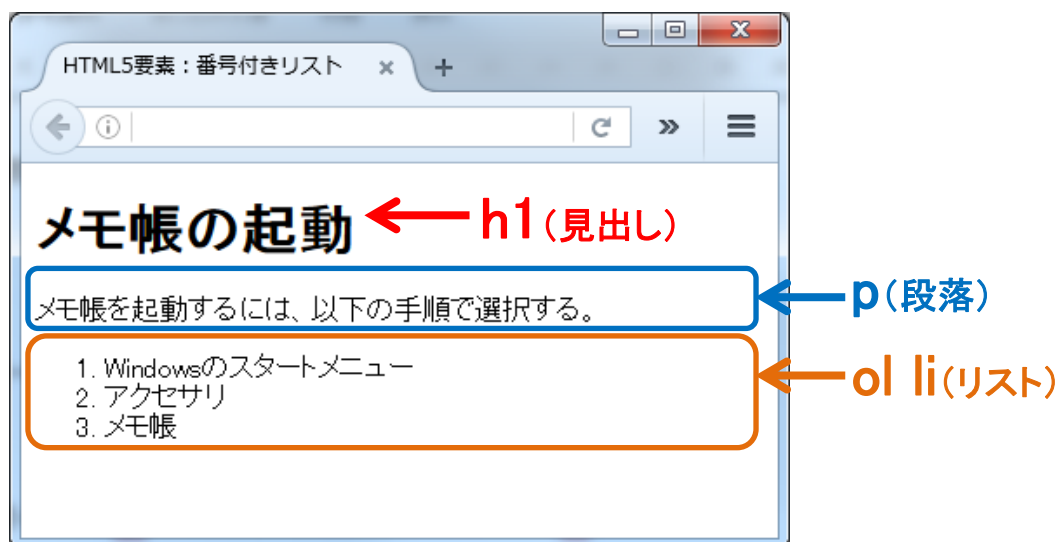
リスト 2

リスト 1

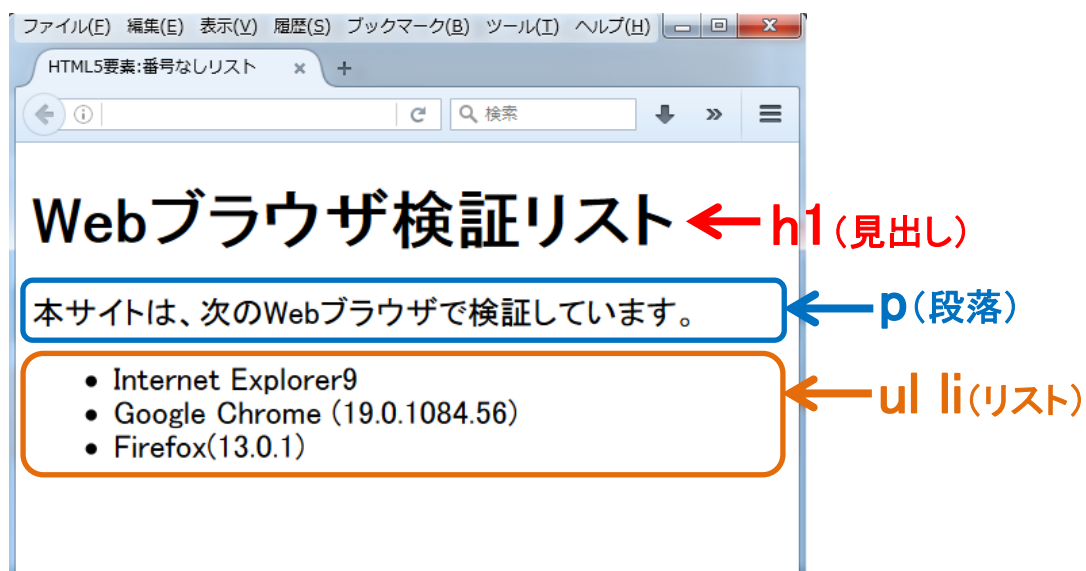
リスト 2

コンテンツをグループ化して、箇条書きにする

P62 例題 6



P64 例題 7



■使用した要素

●<body>要素内のコンテンツ作成

- ・番号付きリスト (Ordered List)(List Item)
- ・番号なしリスト (Unordered List)(List Item)

P67 実習 6 ファイル名「ex06.html」

